

V 保 健 对 策

1 感染症対策

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の関係法令に基づき、感染症発生時対応及び感染症のまん延防止を図っている。

表 1－1 感染症発生届出件数

類型	感 染 症 名	件 数
二類	結核	52
三類	細菌性赤痢	1
	腸管出血性大腸菌感染症	60
四類	E 型肝炎	3
	チクングニア熱	1
	レジオネラ症	7
五類	アメーバ赤痢	3
	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）	1
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症含む）	3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	18
	水痘（入院例）	2
	播種性クリプトコックス症	2
	破傷風	1
	梅毒	74
	百日咳	292
	麻しん	2
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1
総 計		537

表 1－2 感染症発生対応実施状況

項 目	総数	一類	二類	三類	四類	五類
就業制限通知件数	60	－	21	39	－	－
健康診断勧告・措置件数	688	－	369	319	－	－
入院勧告・措置件数	95	－	95	－	－	－
移送件数	1	－	1	－	－	－
消毒等依頼件数	49	－	－	48	1	－

表 1－3 診査協議会開催件数

令和 7 年度件数	40
-----------	----

表 1－4 患者・関係者健康診断実施状況（結核を除く。）

対象者	検査件数	陽 性 者 数			
		一類	二類	三類	新型インフルエンザ等感染症
患者・関係者	358	－	－	24	－
海外帰国者	－	－	－	－	－

（１） 積極的疫学調査

感染症法による届出、社会福祉施設や医療機関等からの報告・相談を受けて積極的疫学調査を実施している。この調査では感染症発生状況、原因等を明らかにすることにより、感染拡大防止及び平常時対策の改善・充実が図られるよう支援している。

社会福祉施設等について、感染症が集団発生した場合の報告様式とチェックリストをホームページに掲載し、自主管理体制の強化を支援している。

また、集団発生時には電話および訪問による調査・指導を行っている。

表 1－5 積極的疫学調査実施状況（散発発生）

類型	感 染 症 名	発生件数
二類	結核	79
三類	細菌性赤痢	1
	腸管出血性大腸菌感染症	59
四類	E 型肝炎	4
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	2
	チクングニア熱	1
	デング熱	1
	日本紅斑熱	1
	ライム病	1
	レジオネラ症	8
	レプトスピラ症	1
五類	アメーバ赤痢	2
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4
	後天性免疫不全症候群（HIV 感染症含む）	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4
	侵襲性髄膜炎菌感染症	4
	侵襲性肺炎球菌感染症	8
	水痘（入院例に限る）	2
	梅毒	11

	播種性クリプトコックス症	2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1
	麻疹	26
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1
	百日咳	127
計		359

表 1－6 積極的疫学調査実施状況（集団発生）

感染症名	発生数	発生施設			
		保育所・幼稚園	学校	福祉施設	医療機関
インフルエンザ (インフルエンザA型、B型、疑いを含む)	167	153	2	11	1
感染性胃腸炎 (ノロウイルス、ロタウイルス、疑いを含む)	42	25	－	17	－
新型コロナウイルス感染症	54	2	－	39	13
その他	52	33	2	11	6
計	315	213	4	78	20

（２） インフルエンザ様疾患による学級閉鎖

表 1－7 インフルエンザ様疾患による学級閉鎖（各市教育局からの報告数）

区 分		4 月	9 月	10月	11 月	12月	1 月	2 月	3 月	計
令和 6 年度 総 数	学校数	2	7	3	5	41	9	5	－	72
	学級数	2	27	3	7	90	15	6	－	150
令和 7 年度 総 数	学校数	－	2	21	149	42	22	97	17	350
	学級数	－	4	41	293	64	37	158	21	618
立 川 市	学校数	－	－	6	41	8	6	32	4	97
	学級数	－	－	10	83	17	12	56	4	182
昭 島 市	学校数	－	－	4	33	13	－	14	3	67
	学級数	－	－	11	75	20	－	29	5	140
国 分 寺 市	学校数	－	1	5	62	16	16	31	7	138
	学級数	－	1	14	110	22	25	47	8	227
国 立 市	学校数	－	1	2	1	1	－	1	－	6
	学級数	－	3	2	3	1	－	1	－	10

東 大 和 市	学校数	－	－	－	－	－	－	4	－	4
	学級数	－	－	－	－	－	－	4	－	4
武蔵村山市	学校数	－	－	4	12	4	－	15	3	38
	学級数	－	－	4	22	4	－	21	4	55

(3) 関係機関との連携および普及啓発

令和4年度より、地域の医療機関との連携、地域全体の感染症対応力の向上を目的として「感染症対策向上加算1」医療機関主催の連携カンファレンスに参加している。

さらに、令和5年度から「感染症対策向上加算1」医療機関との連絡会を実施している。令和7年度は6病院感染症対策担当者連絡会議を4回開催し、地域課題および新興感染症対策の検討などを行った。

表1－8 北多摩西部保健医療圏感染症担当者連絡会

実施日	主な内容	対象	参加者数
令和7年7月4日	「管内の感染症発生動向」 「地域連携で行う、明日役立つクロストリディオイデス・ディフィシルの感染管理入門」	圏域医療機関の 感染症担当者	22名

表1－9 連携カンファレンス参加状況

実施時期（回数）	内 容
令和7年4月～6月（3回）	薬剤耐性菌モニタリング状況、感染症発生状況等の情報交換
7月～9月（5回）	
10月～12月（3回）	
令和8年1月～3月（3回）	

表1－10 研修・講演会実施状況

実施時期	内 容
令和7年6月	プール等における感染症対策、夏に気を付けたい感染症（許可・届出プール管理者向け）
令和7年6月	プール等における感染症対策、夏に気を付けたい感染症（小規模プール管理者向け）
令和7年7月	感染症対策の基礎知識、結核対策、腸管感染症対策と集団発生時対応（高齢者施設従事者向け）
令和7年9月	医療機関協定等の説明（中小病院の感染症対策担当者向け）
令和7年11月	感染症対策の基礎知識、腸管感染症対策と集団発生時対応（保育施設従事者向け）

(4) 地域住民及び関係機関への情報提供

ホームページや健康だよりを活用して感染対策に関する最新情報の提供を行っている。また、関係機関の職場内研修に対して各種健康教育媒体の貸出しも実施している。表 1-11にはその一例として特にニーズの高い「手洗い指導教材」の貸出実績を示した。

表 1-11 手洗い指導教材貸出状況

機関名	回数
医療機関	2
高齢者施設	13
保育所・幼稚園	17
在宅サービス	3
その他	21
計	56

2 エイズ対策

エイズ対策については、増加している梅毒も含めた性感染症について、正しい知識の普及啓発や相談・検査体制の充実を図り、予防対策に取り組んでいる。取組に当たり、管内6市、医療関係者、教育機関関係者、NPO等との連携強化を図りながら対策を推進することを重視している。

当所におけるHIV検査・性感染症検査については、新型コロナウイルス感染症の影響により一時休止した時期もあったが、令和5年10月から、原則毎週月曜日に実施している。陽性結果が判明した際には丁寧な説明と適切な治療につながるよう支援している。

(1) 普及啓発事業

エイズに関する正しい理解と予防の普及啓発のために、「東京都HIV検査・相談月間」及び「東京都エイズ予防月間」に併せて、保健所ギャラリーへの啓発資材展示、管内6市・大学・医療機関・専門学校等にリーフレットや啓発資材の配布を行っている。

(2) エイズ相談・HIV検査・性感染症検査

新型コロナウイルス感染症発生以前は、毎週月曜日（祝祭日を除く）午後には実施していた。
新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年4月以降一時休止し、令和3年9月より委託医療機関による月1回予約制で再開した。令和5年3月には保健所直営検査を月1回予約制で再開し、10月から従来の実施回数に変更した。令和7年度は、年間36回の検査を実施した。

表2-1 エイズ相談・HIV検査・性感染症検査実施状況

年度	相 談												H I V検査												性 感 染 症 検 査											
	総 数				電 話				来 所								梅毒検査				性器クラミジア検査				淋菌検査											
	総 数	男	女	未 回 答	総 数	男	女	未 回 答	総 数	男	女	未 回 答	総 数	男	女	未 回 答	総 数	男	女	未 回 答	総 数	男	女	未 回 答	総 数	男	女	未 回 答	総 数	男	女	未 回 答	総 数	男	女	未 回 答
令和6年度	986	729	257	-	39	27	12	-	947	702	245	-	490	360	127	3	490	360	127	3	477	353	121	3	477	353	121	3	477	353	121	3	477	353	121	3
令和7年度	1072	793	254	25	14	5	4	5	1058	788	250	20	540	400	132	8	540	400	132	8	526	393	125	8	526	393	125	8	526	393	125	8	526	393	125	8

3 結核予防対策

(1) 結核登録者の状況

東京都の結核罹患率（人口10万対）は8.4（令和6年）となり、3年連続で罹患率が10以下となった。
年齢別罹患率の特徴は、5～9歳、20～29歳、80～89歳では全国より低く、それ以外の年齢階級では全国より高い傾向にある。
管内における結核罹患率は6.9（令和6年）となり、ここ5年間では横ばいにある。東京都の罹患率と比較し低い傾向にある。管内の結核発生状況を年齢階級別に見ると、令和6年新登録者46名（潜在性結核を除く）のうち70歳以上の高齢者が60.9%を占めた。

表 3－1 結核登録者数（病態別）（令和 7 年）

			登録患者 総数	(％)	登録患者数 (R7. 12. 31)										潜在性結核 感染症 (別掲)		新登録患者 総数	(％)	新登録患者数 (R7. 1. 1～R7. 12. 31)										潜在性結核 感染症 (別掲)	
					活動性結核								不 活 動 性 結 核	不 明					活動性結核											
					活動性肺結核						活動性肺外結核	活動性肺結核							活動性肺外結核											
					喀痰塗抹陽性				その他菌陽性	菌陰性他		喀痰塗抹陽性								その他菌陽性	菌陰性他									
					総数	初回治療	再治療					総数										初回治療	再治療							
管内	医療形態	前年度総数	94	100%	20	10	10	－	9	1	10	61	3	9	26	46	100.0%	31	14	14	－	15	2	15	19					
		総数	98	100%	24	13	13	－	7	4	8	62	4	16	16	48	100.0%	39	24	24	－	10	5	9	30					
		入院	12	12.2%	9	8	8	－	－	1	3	－	－	－	－	25	52.1%	22	20	20	－	1	1	3	－					
		在宅医療	18	18.4%	14	5	5	－	6	3	4	－	－	13	－	19	39.6%	14	1	1	－	9	4	5	30					
		医療なし	67	68.4%	1	－	－	－	1	－	1	62	3	－	16	4	8.3%	3	3	3	－	－	－	1	－					
		不明	1	1.0%	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	0.0%	－	－	－	－	－	－	－	－					
立川市	医療形態	前年度総数	38	100%	4	1	1	－	2	1	3	22	1	5	8	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		総数	32	100%	8	5	5	－	2	1	4	19	1	9	4	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		入院	5	15.6%	4	4	4	－	－	－	1	－	－	－	－	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		在宅医療	6	18.8%	4	1	1	－	2	1	2	－	－	8	－	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		医療なし	20	62.5%	－	－	－	－	－	－	1	19	－	－	4	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		不明	1	3.1%	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
昭島市	医療形態	前年度総数	19	100%	4	3	3	－	1	－	4	12	1	1	9	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		総数	26	100%	8	2	2	－	4	2	1	16	1	1	2	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		入院	3	11.5%	2	1	1	－	－	1	1	－	－	－	－	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		在宅医療	6	23.1%	6	1	1	－	4	1	－	－	－	1	－	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		医療なし	17	65.4%	－	－	－	－	－	－	－	16	1	－	2	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		不明	－	0.0%	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
国分寺市	医療形態	前年度総数	12	100%	4	2	2	－	2	－	2	6	－	1	4	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		総数	11	100%	3	2	2	－	1	－	－	8	－	2	6	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		入院	2	18.2%	2	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		在宅医療	－	0.0%	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		医療なし	9	81.8%	1	－	－	－	1	－	－	8	－	－	6	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		不明	－	0.0%	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
国立市	医療形態	前年度総数	14	100%	3	2	2	－	1	－	－	9	－	1	－	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		総数	7	100%	1	1	1	－	－	－	－	6	－	1	1	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		入院	－	0.0%	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		在宅医療	1	14.3%	1	1	1	－	－	－	－	－	－	1	－	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		医療なし	6	85.7%	－	－	－	－	－	－	－	6	－	－	1	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		不明	－	0.0%	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
東大和市	医療形態	前年度総数	10	100%	3	1	1	－	2	－	－	5	1	－	3	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		総数	10	100%	2	1	1	－	－	1	－	7	1	2	2	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		入院	－	0.0%	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		在宅医療	2	20.0%	2	1	1	－	－	1	－	－	－	1	－	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		医療なし	8	80.0%	－	－	－	－	－	－	－	7	1	－	2	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		不明	－	0.0%	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
武蔵村山市	医療形態	前年度総数	12	100%	2	1	1	－	1	－	1	7	－	1	2	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		総数	12	100%	2	2	2	－	－	－	3	6	1	1	1	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		入院	2	16.7%	1	1	1	－	－	－	1	－	－	－	－	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		在宅医療	3	25.0%	1	1	1	－	－	－	2	－	－	1	－	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		医療なし	7	58.3%	－	－	－	－	－	－	－	6	1	－	1	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					
		不明	－	0.0%	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...					

表 3－2 結核登録者数（年齢階級別）（令和 7 年）

年齢		登録患者総数（％）		登録患者数(R7.12.31)										潜在性結核感染症（別掲）		新登録患者総数（％）		新登録患者数(R7.1.1～R7.12.31)										潜在性結核感染症（別掲）	
				活動性結核								活動性不明						活動性結核											
				活動性肺結核						不活動性結核								活動性肺結核						活動性肺外結核					
				喀痰塗抹陽性				その他菌陽性										喀痰塗抹陽性				その他菌陽性							
総数	総数	初回治療	再治療	菌陰性他	活動性肺外結核	不活動性結核	活動性不明			治療中	観察中	総数	総数	初回治療	再治療	菌陰性他	活動性肺外結核	治療中											
管内	総数	98	(100.0%)	24	13	13	－	7	4	8	62	4	16	16	48	(100.0%)	39	24	24	－	10	5	9	30					
	0-4	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－					
	5-9	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－					
	10-14	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	1	－					
	15-19	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－					
	20-29	9	(9.2%)	4	1	1	－	2	1	1	4	－	3	4	5	(10.4%)	5	1	1	－	3	1	－	4	－				
	30-39	11	(11.2%)	3	1	1	－	1	1	－	5	3	2	－	4	(8.3%)	4	1	1	－	1	2	－	2	－				
	40-49	6	(6.1%)	1	－	－	－	－	1	2	3	－	1	1	3	(6.3%)	3	2	2	－	－	1	－	3	－				
	50-59	5	(5.1%)	4	2	2	－	2	－	－	1	－	3	4	3	(6.3%)	3	1	1	－	2	－	－	9	－				
立川市	60-69	14	(14.3%)	2	1	1	－	1	－	－	11	1	1	1	4	(8.3%)	4	2	2	－	2	－	－	1	－				
	70-	53	(54.1%)	10	8	8	－	1	1	5	38	－	5	6	29	(60.4%)	20	17	17	－	2	1	9	10					
	総数	32	(32.7%)	8	5	5	－	2	1	4	19	1	9	4	18	(37.5%)	14	9	9	－	3	2	4	10					
	0-4	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	5-9	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	10-14	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	1	－				
	15-19	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	20-29	2	(2.0%)	2	－	－	－	1	1	－	－	－	2	－	2	(4.2%)	2	－	－	－	1	1	－	2	－				
	30-39	4	(4.1%)	1	1	1	－	－	－	－	2	1	2	－	2	(4.2%)	2	1	1	－	－	1	－	2	－				
昭島市	40-49	2	(2.0%)	－	－	－	－	－	－	1	1	－	1	－	2	(4.2%)	2	2	2	－	－	－	－	1	－				
	50-59	2	(2.0%)	2	1	1	－	1	－	－	－	－	2	－	2	(4.2%)	2	1	1	－	1	－	－	2	－				
	60-69	5	(5.1%)	1	1	1	－	－	－	－	4	－	－	－	2	(4.2%)	2	1	1	－	1	－	－	－	－				
	70-	17	(17.3%)	2	2	2	－	－	－	3	12	－	1	4	8	(16.7%)	4	4	4	－	－	－	4	2					
	総数	26	(26.5%)	8	2	2	－	4	2	1	16	1	1	2	11	(22.9%)	11	4	4	－	5	2	－	3					
	0-4	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	5-9	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	10-14	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	15-19	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
国分寺市	20-29	5	(5.1%)	1	－	－	－	1	－	1	3	－	－	2	2	(4.2%)	2	－	－	－	2	－	－	－	－				
	30-39	3	(3.1%)	2	－	－	－	1	1	－	－	1	－	－	2	(4.2%)	2	－	－	－	1	1	－	－	－				
	40-49	2	(2.0%)	1	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－	1	(2.1%)	1	－	－	－	－	1	－	1	－				
	50-59	3	(3.1%)	2	1	1	－	1	－	－	1	－	－	－	1	(2.1%)	1	－	－	－	1	－	－	1	－				
	60-69	4	(4.1%)	1	－	－	－	1	－	－	3	－	1	－	1	(2.1%)	1	－	－	－	1	－	－	1	－				
	70-	9	(9.2%)	1	1	1	－	－	－	8	－	－	－	－	4	(8.3%)	4	4	4	－	－	－	－	4	2				
	総数	11	(11.2%)	3	2	2	－	1	－	－	8	－	2	6	5	(10.4%)	5	4	4	－	1	－	－	9					
	0-4	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	5-9	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
国立市	10-14	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	15-19	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	20-29	1	(1.0%)	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1	1	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	2	－				
	30-39	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	40-49	1	(1.0%)	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	50-59	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	3	－				
	60-69	2	(2.0%)	－	－	－	－	－	－	2	－	1	1	1	(2.1%)	1	1	1	－	－	－	－	－	－	－				
	70-	7	(7.1%)	3	2	2	－	1	－	4	－	1	1	4	(8.3%)	4	3	3	－	1	－	－	4	2					
	総数	7	(7.1%)	1	1	1	－	－	－	6	－	1	1	2	(4.2%)	1	1	1	－	－	－	－	1	1					
東大和市	0-4	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	5-9	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	10-14	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	15-19	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	20-29	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	30-39	1	(1.0%)	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	40-49	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	1	－				
	50-59	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	60-69	1	(1.0%)	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
武蔵村山市	70-	8	(8.2%)	2	1	1	－	－	1	－	6	－	2	1	5	(10.4%)	4	3	3	－	－	1	1	3					
	総数	12	(12.2%)	2	2	2	－	－	3	6	1	1	1	7	(14.6%)	4	3	3	－	1	－	3	3						
	0-4	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	5-9	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	10-14	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	15-19	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	20-29	1	(1.0%)	1	1	1	－	－	－	－	－	－	－	1	(2.1%)	1	1	1	－	－	－	－	－	－					
	30-39	2	(2.0%)	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	40-49	1	(1.0%)	－	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－	(0.0%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

(2) 療養支援状況及び実績

ア DOTS（直接服薬確認療法）推進事業

DOTSは対象者の服薬継続を阻害するリスク要因をアセスメントし、その患者にあった支援内容、方法、頻度で確実な服薬を支援することにより治療達成率の向上を目指す有効な方法である。令和6年に当保健所でDOTSによる支援を実施したのは65名だった。重点支援を必要とするAタイプ・Bタイプは計16名であり、これらの対象者に対しては精神的・社会的背景を考慮し、電話や文書での確認に加えて保健師の訪問や面接、学校及び家族の協力を得る等きめ細かな服薬支援を行った。

表3-3 DOTSタイプ別支援実施者数

	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
令和4年	3	3	71
令和5年	10	2	71
令和6年	4	12	49

(注) DOTSは患者の療養状況によりABCの3タイプに分類される。支援方法は訪問、通院・通所（調剤薬局でのDOTSを含む）、連絡確認など療養状況に応じた方法で実施する。

Aタイプ：治療中断リスクが高い患者

Bタイプ：服薬支援が必要な患者

Cタイプ：A・B以外の患者

表3-4 DOTS実施者・方法別の実施状況(令和6年)

タイプ	実人員	DOTS実施者・方法別（延べ人数）																
		保健所			自宅			医療機関等 DOTS		左記事業外 のDOTS		施設			勤務先・学校	家庭等	（入院先） 病院	その他
		面接	電話	文書等	保健師	支援員	関係者	薬局	医療機関	薬局	医療機関	保健師	支援員	職員	職員	家族	職員	職員
A	4	1	-	4	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B	9	2	4	6	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
C	33	2	17	18	6	-	-	-	-	-	1	-	-	3	-	4	10	-
計	46	5	21	28	11	3	-	-	-	-	1	-	-	3	-	7	10	-

(注) DOTS実施状況は、登録翌年12月31日時点で集計するため、令和6年の実績を掲載している。

イ 医療機関との連携強化

管内には結核病床を持つ専門医療機関が設置されていないため、管外の専門医療機関のDOTSカンファレンスに参加する等、連携に努めている。また、身近なかかりつけ医で結核医療が受けられるよう、個別事例を通して病診連携を推進している。

ウ コホート検討会

DOTS対象者全員について、コホート分析による治療確認と治療効果判定、患者支援方法の評価・見直しを行っている。具体的には、治療開始4カ月目・1年目（治療終了後）のコホート検討会を月1回、実施している。

（３）結核健康診断実施状況

結核患者と接触した者の感染・発病を早期に発見し、治療に結びつけ、結核り患率の低下を図るために、接触者健康診断を実施している。

検査方法は感染の有無を調べるIGRA検査（注）・ツベルクリン検査と、発病の有無を調べる胸部X線検査・喀痰検査があり、接触状況等に応じた時期に必要な検査を実施している。

（注）IGRA検査（Interferon-Gamma Release Assay）：インターフェロング遊離試験。BCG接種の影響を受けずに結核感染の診断が可能な方法。

（４）普及啓発の実施状況

「結核・呼吸器感染症予防週間」に併せて、保健所ギャラリーへ啓発資材の展示を行った。高齢者結核対策として、6市の高齢主管課、健康主管課へ管内の結核発生状況の説明とリーフレット配布を行った。加えて、2市では、介護保険事業者連絡会でリーフレット配布を行った。また、外国出生者結核対策として、6市の外国出生者が多く働く6企業へリーフレット配布を行った。

表３－５ 普及啓発実施状況

開催日	内 容	対象者	参加数
令和7年 7月4日	北多摩西部保健医療圏感染症担当者連絡会	管内6市の医療機関の感染症担当者	23医療機関
令和7年 7月15日・ 24日	知っておきたい感染症の基礎知識と発生時対応～日頃から感染症の流行に備えましょう～	管内6市の高齢者入所施設の職員で感染症対策のリーダーや感染症対策に携わる者	39施設
令和7年 11月21日・ 12月3日	保育現場で慌てない！感染症の基礎知識と発生時対応を学ぶ実践研修～日頃から感染症の流行に備えましょう～	管内6市の保育施設の職員で感染症対策のリーダーや感染症対策に携わる者	33施設
令和8年 1月15日	結核コホート検討会	管内6市の感染対策向上加算1医療機関	6施設

表 3－6 結核健康診断実施状況

		検査内容						結核有所見		
		総 数	反ツ ベル 応 検 査	I G R A 検 査	間エ 接 撮 影 線	直エ 接 撮 影 線	喀 痰 検 査	結 核 患 者	感 染 性 結 核 症	要 観 察 者
管	R 6 年度総数	391	5	268	－	118	－	－	5	9
	R 7 年度総数	361	3	286	－	72	－	－	10	3
	定期外検診	340	3	286	－	51	－	－	10	3
	患者家族検診	67	－	47	－	20	－	－	5	－
	接 触 者 健 診	273	3	239	－	31	－	－	5	3
	その他の検診	21	－	－	－	21	－	－	－	－
内	管 理 検 診	21	－	－	－	21	－	－	－	－
	R 6 年度総数	120	2	69	－	49	－	－	1	6
	R 7 年度総数	89	3	60	－	26	－	－	3	1
	定期外検診	83	3	60	－	20	－	－	3	1
	患者家族検診	22	－	14	－	8	－	－	3	－
	接 触 者 健 診	61	3	46	－	12	－	－	－	1
市	その他の検診	6	－	－	－	6	－	－	－	－
	管 理 検 診	6	－	－	－	6	－	－	－	－
昭	R 6 年度総数	64	1	39	－	24	－	－	－	－
	R 7 年度総数	35	－	21	－	14	－	－	1	－
	定期外検診	29	－	21	－	8	－	－	1	－
	患者家族検診	18	－	14	－	4	－	－	1	－
	接 触 者 健 診	11	－	7	－	4	－	－	－	－
	その他の検診	6	－	－	－	6	－	－	－	－
島	管 理 検 診	6	－	－	－	6	－	－	－	－
	R 6 年度総数	52	1	36	－	15	－	－	3	－
	R 7 年度総数	42	－	36	－	6	－	－	－	－
	定期外検診	40	－	36	－	4	－	－	－	－
	患者家族検診	3	－	2	－	1	－	－	－	－
	接 触 者 健 診	37	－	34	－	3	－	－	－	－
分	その他の検診	2	－	－	－	2	－	－	－	－
	管 理 検 診	2	－	－	－	2	－	－	－	－
寺	R 6 年度総数	36	1	26	－	9	－	－	－	－
	R 7 年度総数	51	－	41	－	10	－	－	－	－
	定期外検診	49	－	41	－	8	－	－	－	－
	患者家族検診	8	－	6	－	2	－	－	－	－
	接 触 者 健 診	41	－	35	－	6	－	－	－	－
	その他の検診	2	－	－	－	2	－	－	－	－
市	管 理 検 診	2	－	－	－	2	－	－	－	－
	R 6 年度総数	91	－	75	－	16	－	－	1	2
	R 7 年度総数	104	－	94	－	10	－	－	2	2
	定期外検診	101	－	94	－	7	－	－	2	2
	患者家族検診	9	－	6	－	3	－	－	－	－
	接 触 者 健 診	92	－	88	－	4	－	－	2	2
和	その他の検診	3	－	－	－	3	－	－	－	－
	管 理 検 診	3	－	－	－	3	－	－	－	－
武	R 6 年度総数	28	－	23	－	5	－	－	－	1
	R 7 年度総数	40	－	34	－	6	－	－	2	－
	定期外検診	38	－	34	－	4	－	－	2	－
	患者家族検診	7	－	5	－	2	－	－	1	－
	接 触 者 健 診	31	－	29	－	2	－	－	1	－
	その他の検診	2	－	－	－	2	－	－	－	－
山	管 理 検 診	2	－	－	－	2	－	－	－	－
	管 理 検 診	2	－	－	－	2	－	－	－	－

(注) I G R A 検査は Q F T (クオンティフェロン) 検査及び T－S P O T 検査の受診者を集計した。

4 一般健康相談

(1) 受託検診

保健所では一般の医療機関や検診機関では対応困難な障害者施設（通所）の利用者を対象に検診を実施している。

表 4－1 受託検診（障害者通所施設等）実施状況

区 分	受診者総数	エ ッ ク ス 線		実施回数	施 設 数
		間接撮影者数	直接撮影者数		
令和 6 年度	59	－	58	10	10
令和 7 年度	58	－	57	9	10

(2) 肝炎ウイルス検査・相談

肝炎ウイルスに関する正しい知識の普及と、感染者を早期に発見し適切な医療が受けられるようにするため、肝炎ウイルス相談と検査を行っている。検査の対象者は、40歳未満もしくは過去に肝炎ウイルス検診を受けたことがなく、市町村・職場等で検診を受ける機会がない者である。陽性者に対しては、専門医療機関での治療が受けられるよう調整するとともに療養相談を行っている。

令和 7 年度は、月に 1 回、定員 3 名で実施した。

表 4－2 肝炎ウイルス検査実施状況

区 分	検査者数	B 型	C 型	両 方	H C V 核酸同定検査
令和 6 年度	23	－	－	23	－
令和 7 年度	19	－	－	19	－

5 母子保健

保健所は小児慢性疾患を有する長期療養児等を対象とする療育相談事業、重症心身障害児（者）等の在宅療養に係る調整・指導等を実施している。また、乳幼児健診等の母子保健事業を実施している各市と連携し、母子保健サービスの向上を図っている。

（１）療育相談事業

身体に機能障害がある児童、障害のおそれのある児童及び疾病により長期にわたり療養を必要とする児童を対象に、希望者に対して個別相談を行っている。必要に応じて訪問相談を行うとともに、医療機関及び療育関係機関との連携等により在宅療養生活の支援を行っている。

また、令和７年度は、ピアスタッフを講師とした交流会を実施し、未就学の医療的ケア児、重症心身障害児、保護者、市職員などの関係者19名の参加があった。

表５－１ 保健師による療育相談事業（長期療養児）実施状況

年度	個別相談計	個 別 相 談 （延べ数）				関係機関連絡 （延べ数）
		家庭訪問	面接相談	電話相談	その他	
令和６年度	241	44	15	179	3	437
令和７年度	160	27	5	122	6	301

表５－２ 保健師による療育相談事業（心身障害）実施状況

年度	個別相談計	個 別 相 談 （延べ数）				関係機関連絡 （延べ数）
		家庭訪問	面接相談	電話相談	その他	
令和６年度	191	50	10	128	3	622
令和７年度	266	71	11	182	2	777

（２）在宅重症心身障害児（者）等相談指導事業

在宅重症心身障害児や医療的ケア児^(注)の健康を保持するとともに安定した家庭療育を確保し、児と家族の福祉の向上を図るため、社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る会西部訪問看護事業部と連携した看護と療育を支援するとともに、在宅療養児（者）に対する相談を行っている。

事業利用者は令和６年度は21名、令和７年度は23名である。

（注） 医療的ケア児とは、日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケアを受けることが不可欠である児童をいう。

（３）母子保健関係会議

各市が主催する母子保健関係会議へ参画し、地域における子育て対策や障害児療育支援体制の充実のための協力支援を行っている。また、虐待など対応の難しいケースが増える中、会議への参加を通して支援の必要な家庭に対し関係機関が連携して支援できるよう、子育て支援ネットワークの充実を図っている。

6 特殊疾病対策

難病とは、原因が不明で長期の療養を必要とする治療法が未確立の疾病であり、患者やその家族は疾病の特殊性から医療面、経済面、介護面などにさまざまな問題を抱えている。保健所では難病患者に対し、関係機関と連携しながら療養支援を行うとともに、講演会の実施等、地域の支援スタッフへの専門的・技術的支援を行っている。

平成27年1月に「難病の患者に対する医療等に関する法律」（以下「難病法」という。）が施行され、国の指定難病は330疾患（平成29年）に拡大し、令和7年4月1日から348疾患となり、希少難病を含めた神経難病患者を中心とした療養支援体制整備に取り組んでいる。

平成29年度以降、難病法に基づき、難病対策地域協議会を設置し、地域関係機関と連携し難病対策を進めている。

（1）在宅難病患者療養相談指導事業

表6－1 療養相談指導実施状況

区 分	総 数	相 談 件 数（延べ数）				
		家庭訪問	面接相談	電話相談	その他の相談	関係機関連絡
令 和 6 年 度	5,007	515	131	1,293	57	3,011
令 和 7 年 度	4,429	452	112	1,322	31	2,512
保 健 師	4,400	423	112	1,322	31	2,512
理 学 療 法 士 等	29	29	－	－	－	－
栄 養 士	－	－	－	－	－	－
歯 科 衛 生 士	－	－	－	－	－	－

（2）在宅難病患者医療機器貸与・整備事業

在宅療養難病患者の支援のため、東京都では吸引器・吸入器の貸与を行っている。

表6－2 医療機器貸与実施状況

区 分	貸与患者数	訪 問 看 護 導入患者数	機器の種類	
			吸入器	吸引器
令 和 6 年 度	5	－	2	5
令 和 7 年 度	5	－	2	5
立 川 市	1	－	1	1
昭 島 市	－	－	－	－
国 分 寺 市	3	－	1	3
国 立 市	1	－	－	1
東 大 和 市	－	－	－	－
武 蔵 村 山 市	－	－	－	－

表 6－3 疾病別貸与患者数

疾 病 名	患者数
筋萎縮性側索硬化症	2
脊髄性筋萎縮症	2
進行性核上性麻痺	1
計	5

(3) 講演会

患者同士が交流を通じて病気との向き合い方を学ぶ機会となるよう、筋萎縮性側索硬化症（ALS）の患者や家族を対象とした交流会を開催した。

表 6－4 講演会実施状況

開催日	対象者	テーマ（内容）	参加者数
令和7年10月2日	患者・家族等	筋萎縮性側索硬化症（ALS）との付き合い方と生活の工夫について 講師：都立神経病院 脳神経内科医師 木田 耕太 氏 東京都難病ピア相談室 ピア相談員 青木 良浩 氏	20名

(4) 難病対策地域協議会

令和8年1月22日に開催した。圏域6市の障害福祉主管課、医師会、訪問看護ステーション、居宅介護事業所、地域包括支援センター、患者・家族会、多摩立川保健所の計24機関から24名が参加し、若年の在宅神経難病患者の現状と課題をテーマに協議した。

(5) 在宅難病患者療養支援計画策定・評価会議

在宅難病患者に対し、専門医療機関や地域の医療機関、市町村保健福祉部署等との連携を図り、個々の患者に応じた療養環境の整備、各種サービスの適切な提供等を目指し、在宅難病患者療養支援計画策定・評価会議を開催し、支援方針の共有化を図っている。令和7年度は7回開催した

(6) 在宅難病患者一時入院事業

介護者の急病・休息等で一時的に患者を在宅で介護できない場合、東京都が契約している病院に短期間入院できる制度である。長期在宅難病患者の介護者のレスパイト（休息）を目的にした利用が多い状況である。

なお、東京都では、令和4年度から難病患者在宅レスパイト事業を開始し、在宅で人工呼吸器を使用している難病患者を対象に、患者宅に看護人を派遣する事業を実施している。

表 6－5 一時入院事業利用状況（利用した人数）

管 内		利用者数（延人数）	利用延べ日数
令 和 6 年 度		25	492
令 和 7 年 度		25	499
疾 病 別	筋 委 縮 性 側 索 硬 化 症	5	
	進 行 性 核 上 性 麻 痺	4	
	多 系 統 萎 縮 症	5	
	脊 髄 小 脳 変 性 症	2	
	先 天 性 ミ オ パ チ ー	3	
	重 症 筋 無 力 症	-	
	パ ー キ ン ソ ン 病	2	
	色 素 性 乾 皮 症	1	
	モワットウィルソン症候群	3	

7 医療費助成

結核医療費助成については感染症の診査に関する協議会を、大気汚染医療費助成については大気汚染認定審査会を開催し、それぞれ認定している。

表 7－1 疾病別医療費公費負担・助成・給付認定数

	令和 6 年度	令和 7 年度	立川市	昭島市	国分寺市	国立市	東大和市	武蔵村山市
総 数	1,344	1,290	344	194	305	172	142	133
妊娠高血圧症候群等	－	－	－	－	－	－	－	
療育給付	－	－	－	－	－	－	－	－
結核医療	136	168	64	25	23	15	25	16
一般患者(37条の2)	95	94	35	14	14	6	15	10
入院勧告(37条)	41	74	29	11	9	9	10	6
大気汚染関連疾病	1,208	1,122	280	169	282	157	117	117
慢性気管支炎	－	－	－	－	－	－	－	－
気管支ぜん息	1,208	1,122	280	169	282	157	117	117
ぜん息性気管支炎	－	－	－	－	－	－	－	－
肺気しゅ	－	－	－	－	－	－	－	－
四種疾病の続発症	－	－	－	－	－	－	－	－

8 精神保健福祉

保健所は未治療・治療中断等医療的側面の強い相談や依存症、児童・思春期等の専門相談、対応困難事例への相談援助や事業を実施している。地域生活支援に関する一般相談、障害福祉サービス等の利用に関する相談などは市町村が担っており、保健所は市をはじめ、医療機関、福祉機関などの多くの関係機関との連携を図りながら、精神保健福祉事業を進めている。

平成29年2月に国は「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会」報告書において、精神障害者が、地域の一員として、安心して自分らしい暮らしができるよう、医療、障害福祉・介護、社会参加、住まい、地域の助け合い、教育が包括的に確保された地域づくりを推進するため、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築を目指すことを新たな理念として示した。この理念を基本に、平成30年3月に措置入院者の退院後支援の具体的手順を整理した「地方公共団体による精神障害者の退院後支援に関するガイドライン」が発出された。これを受け、令和2年1月「東京都における措置入院者退院後支援ガイドライン」が作成され令和5年1月に改訂している。

さらに、国は精神障害者の地域生活支援体制の強化等を目的として、令和4年12月に、障害者総合支援法および精神保健福祉法の一部を改正する法律が公布され、令和5年4月、令和6年4月に分けて施行された。

こうした情勢を踏まえ、保健所は市をはじめとする関係機関との連携を図りながら、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築の推進に取り組んでいる。

(1) 精神保健福祉相談・精神保健医療相談

ア 精神保健福祉相談（保健師による）

保健師による精神保健福祉相談は電話相談や面接相談のほか、必要に応じて家庭訪問を実施している。相談内容は、未治療・治療中断による緊急対応や近隣苦情・対応困難事例が主となり、医療機関・警察等の関係機関と協働して支援することが多くなっている。また、児童虐待、児童・思春期ケースについても市や教育・福祉機関等との連携のもとに支援を行っている。

表8-1 精神保健福祉相談（保健師による）

年度	精神保健福祉相談（訪問相談除く）									訪問相談								
	実 人 員	延 べ 人 員	内 訳							実 人 員	延 べ 人 員	内 訳						
			社 会 復 帰	老 人 精 神 保 健	ア ル コ ー ル	薬 物 依 存	児 童 ・ 思 春 期	心 の 健 康 づ く り	そ の 他			社 会 復 帰	老 人 精 神 保 健	ア ル コ ー ル	薬 物 依 存	児 童 ・ 思 春 期	心 の 健 康 づ く り	そ の 他
令和6年	803	11,839	21	166	529	91	1,101	324	9,607	148	574	－	2	22	2	26	23	499
令和7年	964	12,853	8	387	663	62	1,079	367	10,287	125	564	－	9	35	－	26	7	487

※関係機関連絡含む

イ 関係機関連絡

精神保健に課題を抱える当事者・家族が安定した地域生活を送るために、保健関係、医療関係、福祉関係等多種多様な機関と連絡調整・協力支援を行っている。令和7年度の関係機関連絡は延べ7,350件で、その内訳は福祉関係との連絡相談が3,870件と多く、次いで医療関係との連絡相談が2,740件で、両者で全体の90%を占めている。

ウ 事例検討会

対応困難事例については関係機関と適宜、事例検討を実施し、協力・連携する機会が増加している。対象事例の検討目的により参加機関（者）は、市の生活福祉・障害福祉・健康推進担当部署、子ども家庭支援センター、児童相談所、医療機関、地域の障害福祉サービス事業所、介護保険関係事業所、民生委員、多摩総合精神保健福祉センター等多岐にわたっている。

エ 精神保健医療相談（専門医等による）

精神疾患の早期発見、早期治療の促進を図るために、精神科専門医等による個別相談を行っている。本人・家族、関係者を対象とし、来所による面接相談を基本としながらも、必要に応じて家庭訪問による相談を行っている。

表 8－2 精神保健医療相談（専門医等による）

年度	精神保健医療相談										訪問相談(再掲)									
	実施回数	実人員	延べ人員	内 訳							実施回数	実人員	延べ人員	内 訳						
				社会復帰	老人精神保健	アルコール	薬物依存	児童・思春期	心の健康づくり	その他				社会復帰	老人精神保健	アルコール	薬物依存	児童・思春期	心の健康づくり	その他
令和6年度	48	125	125	－	9	29	－	12	21	54	6	20	20	－	－	－	－	－	2	18
令和7年度	47	162	162	－	12	52	－	18	46	34	10	25	25	－	4	－	－	3	14	4

(2) 医療保護入院届出数

医療保護入院とは精神保健指定医の診察の結果、精神障害であり、かつ医療及び保護のための入院の必要があると認められる場合に、本人の同意がなくても家族等の同意によって入院する制度である。管内の精神科病床を有する病院の管理者から、患者の入退院について保健所を経由して都知事に届出がなされる。なお、この届出は患者の住所地ではなく病院の所在地の保健所にて行われる。

表 8－3 医療保護入院届出数（精神保健福祉法第33条第1項）

年 度	管 内 総 数	内 訳															
		症状性を含む器質性精神障害			精神作用物質使用による精神及び行動の障害				統合失調症等	気分（感情）障害	ス関連障害等	神経症性障害、ストレス	成人の人格・行動の障害	精神遅滞	その他の精神障害	てんかん	その他
		小計	認知症	認知症以外	小計	アルコール使用	覚せい剤使用	その他の使用									
令和6年度	232	74	63	11	8	7	1	－	115	21	2	－	9	1	2	－	－
令和7年度	206	76	64	12	7	7	－	－	84	21	1	－	12	5	－	－	－

(3) 精神保健福祉法に基づく診察及び保護の申請又は通報受理数

精神障害のために自傷他害のおそれのあるとき、精神保健福祉法第22条（診察及び保護の申請）及び第23条（警察官の通報）により都知事は対象者の診察を行い、入院等医療の可否を判断する。

表 8－4 精神保健福祉法に基づく診察及び保護の申請又は通報受理数

年度	管内総数	第22条	第23条	第24条	第25条	第26条	第26条の2
		(診察及び保護の申請)	(警察官の通報)	(検察官の通報)	(保護観察所の長の通報)	(矯正施設の長の通報)	(精神科病院の管理者の届出)
令和6年度	127	－	127	－	－	－	－
令和7年度	110	－	110	－	－	－	－

(4) 精神保健専門グループワーク事業

保健所における精神保健福祉活動として、ひきこもりや家族関係の難しさに悩む家族を対象に、「家族関係を考えるグループ」を実施している。

表 8－5 専門グループワーク

グループ名	会 場	内 容	回数	参加者数	
				実	延
家族関係を考えるグループ	多摩立川保健所	思春期の発達課題や家族関係に困難を抱えるご家族を対象にしたグループワーク	11	9	62

(5) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム（「にも包括」）構築の推進

管内の各市の「にも包括」の協議の場に参加し、地域の取組や課題の共有を行っている。

(6) 家族会・自助グループ等への支援

管内には立川麦の会（立川市）、アットホーム・歩歩（昭島市）、国分寺あゆみ会（国分寺市）、シュロの会（国立市）の精神障害者家族会等がある。また、依存症の当事者会や家族会、ひきこもりの当事者会や家族会なども活動している。引き続き相談活動等を通じて、周知を行っていく。

(7) 精神保健福祉講演会の開催

精神保健福祉に関する相談や支援を行っている関係機関を対象として、講演会を開催している。

表 8－6 講演会実施状況

開催日	対象者	テーマ（内容）	参加者数
令和7年8月29日	関係機関職員	お酒の課題を抱える方の気持ちと対応を学ぶ ～身近な支援者ができること～ 講師：矢田の丘相談室 田中 剛 氏 アルコール依存症 当事者	53名

(8) 地域精神保健医療福祉連携会議（令和5年度に地域精神保健福祉連絡協議会・専門部会から名称を変更）

地域関係機関との相互理解を深め、連携強化をはかり、地域包括ケアの充実を図る目的で、地域精神保健医療福祉協議会を実施している。

表 8－7 地域精神保健医療福祉連携会議

開催日	参加者	テーマ（内容）	参加者数
令和7年12月22日	管内障害福祉主管課、重層的支援体制整備事業関連部署または生活困窮相談窓口、精神科医療機関、多摩総合精神保健福祉センター	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築の推進に向けて ～キーパーソンのいない本人の危機的状況をどのようにチームで支えていくか～ 助言者：かわさき社会福祉事務所 所長 川崎 裕彰 氏	24名

9 保健師活動（各分野別活動以外）

保健師は保健医療担当、企画調整担当、感染症対策担当、地域保健第一担当及び地域保健第二担当に配置されており、地域保健第一担当は立川市、国立市及び東大和市を、地域保健第二担当は昭島市、国分寺市及び武蔵村山市を担当している。

保健師は東京都の職員として、また専門技術職員として、各機関の職員や住民等との連携・協力により療養支援、地域サービスの調整やシステム化、ネットワークづくりなどに向けた活動を行っている。

（１） 広域的・専門的対人保健活動

保健師による相談支援の対象者は、精神保健福祉分野においては対応が困難とされる事例や精神科医療が必要と考えられても治療につながっていない未治療や治療中断、また児童虐待や思春期・青年期のひきこもりなど専門的な関わりを必要とする者が多い。特殊疾病対策分野については医療依存度の高い神経難病患者に対する個別支援、地域療養体制の整備や相談支援が重点課題となっている。

また難病、自立支援医療（精神通院）、小児慢性疾患、育成医療、未熟児養育医療、大気汚染等の医療費助成申請窓口は市が行っていることから、医療費助成申請者の健康課題の把握については各市担当部署及び関係機関との連携協力により実施している。

ア 家庭訪問

総数で1,088件の家庭訪問を実施した。対象別では難病が423件で38.9%を占めており、医療費助成新規申請に伴う把握のほか、医療機関やケアマネジャー等関係機関から紹介される事例が多い。精神保健福祉は564件で51.8%であり、各市の相談窓口、地域包括支援センター、医療機関、警察、民生委員・児童委員、学校、子ども家庭支援センター等関係機関からの紹介が多い。心身障害は71件で6.5%であった。

イ 面接相談・電話相談及び関係機関連絡

面接相談は総数で1,224件であり、そのうち精神保健福祉に関する相談は1,095件で全体の89.5%を占めている。難病に関する相談は112件、12.2%であった。

電話による相談は総数で6,043件であり、そのうち精神保健福祉に関する相談は4,365件で、全体の72.2%を占めている。難病に関する相談は1,322件で21.9%であった。

関係機関連絡は総数で11,003件であり、精神保健福祉の関係が7,350件で全体の66.8%を占めており、難病の関係は2,512件で22.8%であった。多様な健康問題の解決に向け、医療機関をはじめとした様々な機関とのチームアプローチがますます重要になってきている。

表 9－1 保健師活動状況(延べ数) 地域保健担当分

年度	種別	区 分	総 数	感染症	精神保健福祉	心身障害	長期療養児	難病	乳児	幼児	その他
6年度	総数	家 庭 訪 問	1,162	－	574	50	44	488	6	－	－
		面 接 相 談	1,072	－	908	10	15	131	4	－	4
		電 話 相 談	5,198	3	3,545	128	179	1,292	14	－	37
		文書その他の相談	151	－	87	3	3	57	－	－	1
		関係機関連絡	11,463	2	7,299	622	437	3,010	56	－	37
7年度	総数	家 庭 訪 問	1,088	0	564	71	27	423	2	0	1
		面 接 相 談	1,224	1	1095	11	5	112	0	0	0
		電 話 相 談	6,043	3	4,365	182	122	1,322	17	3	29
		文書その他の相談	83	0	43	2	6	31	1	0	0
		関係機関連絡	11,003	6	7,350	777	301	2,512	31	13	13
	立川市	家 庭 訪 問	299	0	180	30	0	88	1	0	0
		面 接 相 談	307	0	265	1	0	41	0	0	0
		電 話 相 談	1840	2	1433	86	11	299	8	1	0
		文書その他の相談	18	0	12	1	0	5	0	0	0
	昭島市	関係機関連絡	2293	0	1,492	265	10	513	13	0	0
		家 庭 訪 問	154	0	76	1	19	58	0	0	0
		面 接 相 談	106	0	87	1	4	14	0	0	0
		電 話 相 談	904	1	654	6	45	191	0	0	7
		文書その他の相談	14	0	5	0	2	7	0	0	0
	国分寺市	関係機関連絡	1423	0	916	21	248	231	0	0	7
		家 庭 訪 問	239	0	104	9	7	119	0	0	0
		面 接 相 談	240	0	229	3	0	8	0	0	0
		電 話 相 談	1105	0	743	12	24	319	7	0	0
		文書その他の相談	12	0	4	0	1	6	1	0	0
	国立市	関係機関連絡	1971	0	1,373	78	19	498	3	0	0
		家 庭 訪 問	166	0	92	7	1	65	0	0	1
		面 接 相 談	267	1	260	0	1	5	0	0	0
		電 話 相 談	773	0	558	15	38	147	0	0	15
		文書その他の相談	20	0	12	0	3	5	0	0	0
	東大和市	関係機関連絡	1905	6	1,424	77	14	370	8	0	6
		家 庭 訪 問	91	0	27	14	0	49	1	0	0
		面 接 相 談	60	0	45	4	0	11	0	0	0
		電 話 相 談	557	0	311	32	4	205	2	2	1
		文書その他の相談	9	0	1	1	0	7	0	0	0
	武蔵村山市	関係機関連絡	1484	0	744	156	5	559	7	13	0
		家 庭 訪 問	139	0	85	10	0	44	0	0	0
		面 接 相 談	239	0	204	2	0	33	0	0	0
		電 話 相 談	790	0	597	31	0	161	0	0	1
		文書その他の相談	10	0	9	0	0	1	0	0	0
	住所未把握・管外	関係機関連絡	1894	0	1,372	180	5	337	0	0	0
		家 庭 訪 問	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		面 接 相 談	5	0	5	0	0	0	0	0	0
		電 話 相 談	74	0	69	0	0	0	0	0	5
		文書その他の相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		関係機関連絡	33	0	29	0	0	4	0	0	0

(2) 総合的な保健・医療・福祉サービスのシステム化

保健・医療・福祉の各機関のサービスが効率的・効果的に機能するよう、精神保健福祉や特殊疾病対策、障害児療育などの個別ケア会議を充実させるとともに、研修会やネットワーク会議の開催及び地域保健医療推進プランの取組を行っている。

(3) 市町村連携・支援

保健所の保健師は、各市町村が地域保健活動の実施主体として活動できるよう個別支援活動や地域関係者の会議等において専門的・技術的観点からの助言や支援を行い、連携を図っている。

10 エックス線検査

保健所では患者家族検診、受託検診等でエックス線検査を実施している。また、医療法に基づき新規開設及び変更の診療所及び歯科診療所のエックス線装置等に関する立入り検査・指導を実施している。

(1) エックス線検査

表10－1 事業別エックス線検査実施数

年 度	区 分	総 数	感染症法によるもの			
			患者家族検診	接触者健診	管理検診	受託検診
令和6年度	直接撮影	123	16	29	20	58
令和7年度	直接撮影	103	13	16	17	57

(2) 診療放射線技師による実施検査

表10－2 実施検査実施数

年 度	種 別	総 数	診療所	歯科診療所
令和6年度	総 数	52	27	25
令和7年度	総 数	60	28	32
	立 川 市	25	12	13
	昭 島 市	14	7	7
	国 分 寺 市	10	7	3
	国 立 市	5	－	5
	東 大 和 市	5	2	3
	武 蔵 村 山 市	1	－	1

11 試験検査

表11－1 検査実施状況

検 査 事 項		令和 6 年度	令和 7 年度
		受託検診	受託検診
総 数		819	924
尿検査	小 計	114	114
	蛋 白	57	57
	糖	57	57
血液検査	小 計	705	810
	白血球数	47	54
	赤血球数	47	54
	血 色 素	47	54
	ヘマトクリット	47	54
	血小板数	47	54
	MCV	47	54
	MCH	47	54
	MCHC	47	54
	AST (GOT)	47	54
	ALT (GPT)	47	54
	γ-GTP	47	54
	中性脂肪	47	54
	HDL コレステロール	47	54
	LDL コレステロール	47	54
	ヘモグロビンA1c	47	54